市議会議員 かけのまち子

電話/Fax 53-7727 kakenom@xj.commufa..jp



市議会議員 陽子 みわ

電話/Fax 54-6712 yokko0520mi@yahoo.co.jp



No.558 2024.9.12 日本共産党江南市委員会 あすの江南

元市議 森ケイ子 電話/Fax 57-2753 元市議 東よしき 電話/Fax 54-7977 *困り事は早めにお気軽にご相談ください

日本共産党江南市議員団 HP



| 検索↓





かけのまち子議員

水道の広域化ストップ

自己水源を守れ 広域化検討体制から離脱を



2018年改正の水道法は、県が主導して水道の 広域連携と民営化を推進する内容です。

改正水道法に基づき、愛知県は2023年3月、 水道広域化推進プランを策定。県内を名古屋市と 西尾張・東尾張・西三河・東三河の4ブロックに 分け、愛知地域1水道を目指し段階的に広域化す る計画です。江南市は西尾張ブロックに参加して きました。(上図参照)

貴重な自己水源の廃止と全面的な県水受水へ の切り替え、具体的には市の配水場・ポンプ場を 廃止して県水を直結配水する統廃合、管理の一体 化など人員体制の見直しが想定されています。

これでは、ダムをつくりすぎて余っている高い県営 水道の水を、貴重な自己水源を廃止してまで買わされ ることになります。

身近にある井戸・自己水源は、大災害時、長期間の 断水を防ぐために大切です。広域化した長い導水管が 壊れれば、復旧にも時間がかかります。大災害時にお いても、命の水を市民に安定的に供給し続けるために 広域化は避けるべきだと市の対応を質し、早めに広域 化ブロック検討体制から離脱するよう求めました。

市当局は「広域化にむけて、施設や維持管理の共同 化などできるところから連携し、段階的に進めること としているが、具体的な合意形成は進んでいない。広 域化のメリットとして、専門職の確保、広域的な支援 体制による災害対応能力の強化があるが、江南市の配 水場等の廃止は困難と考える。

現時点では、情報収集したり、災害時の協力体制を 保つため、広域化研究会議からの離脱は考えていな い」と答弁しました。

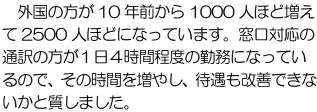
江南市議会公式YouTube



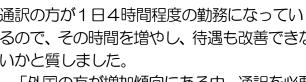
党議員団の一般質問は9 月4日の、かけの議員は午 前、三輪議員は午後の配信 で、ご覧いただけます。

外国の方への支援の充実を

窓口の支援体制



「外国の方が増加傾向にある中、通訳を必要 とする場面が全庁的にどのぐらいあるかを把 握し適切な人員体制にする」との答弁でした。



子どもたちと保護者にたいする支援

市内で日本語指導を必要とする子ども達が 小学生80人、中学生29人いることがわかり、 その支援を質しました。

「県から小学校に3人、中学校に2人の日本語 教育適応学級担当教員が加配配置されている。 小学校は古東、宮田、藤里に1人ずつ、中学校 は宮田に2人配置し、週1時間から6時間指導 を行い、他の学校へも巡回指導している。

また学校以外でも国際交流協会の自主事業 として、「子ども塾」を開催。毎週火曜日と

木曜日の週2回「ふくらの家」と「藤里小国際 ルーム」において学習支援や日本の学校に入る 前のプレスクールも行われている」との答弁で した。

入学説明会、宿泊研修、進路説明会など学校 行事や日々の保護者へのおたよりなどでは県か ら派遣されている語学相談員の方に翻訳してい ただいたり、国際交流協会の方に助けていただ いたりしていることがわかりました。

近年増えているベトナムや中国の方に対応で きる人を置いてほしいとの、学校からの要望を 伝えました。

防災対策について

近年多発している災害の情報を外国の方にど のように知らせていて今後どのようにしていく のかを質しました。

「防災ハンドブックで多言語対応の通知につ いてお知らせをしており、今後は安心安全メー ルの多言語対応について検討している」との答 弁でした。



みわ 陽子議員

